



No. 15

東京都行政書士会 品川支部通信

区民の近くに私たち行政書士がいる

平成28年度品川支部定時総会、政連定時大会開催 ～やっぱり品川が一番好きです～ 金子新支部長のもと、シナガワイズムで支部のさらなる発展を

4月19日、大井町「きゅりあん」にて品川支部定時総会及び政連品川支部定時大会が開催されました。

総会で金子新支部長を選任

徳田理事の名司会により開始し、まず本日をもって任期を全うされる田村支部長の挨拶がありました。田村支部長のもと、品川支部は自由な雰囲気の中で結束を固め、更なる発展を遂げることができました。

議長は小川理事、副議長に熊谷会員が選任され、議事が始まりました。第1号議案平成27年度事業報告では、支部事業について各グループ担当理事から詳細報告があり、続いて第2号議案平成27年度収支決算及び監査報告、第3号議案平成28年度事業計画(案)、第4号議案平成28年度予算(案)、第5号議案支部規程の制定及び改正について上程され、それぞれ担当責任者から説明があり、審議の結果満場一致で承認可決されました。

今年も、ベテラン会員から若手会員までとても前向きで、支部の発展に向けた発言が多く、非常に緊張感のある充実した内容の議論が交わされました。そして、第6号議案任期満了に伴う支部長及び役員の変更で、金子副支部長が支部長に選任され、その場で理事を任命し、新



支部長が非常に力強い前向きな抱負を述べ、出席者一同新支部長の下での新体制で、結束を新たにしようとしてゆこうと強く思いました。第7号議案代議員「東京会」

17名(支部長含む)の選出、最後の第8号議案：支部選挙管理委員が選任され承認可決されました。

続いて政連定時大会が開催され、第1号議案平成27年度活動報告、第2号議案平成27年度収支決算報告及び同監査報告、第3号議案平成28年度活動計画(案)、第4号議案平成28年度予算(案)と審議の上全て承認可決されました。最後に第5号議案で代議員「東京会」

15名の選出があり、定時大会も無事終了しました。

芸達者ぞろいで酔いしれた懇親会

総会・大会の後は恒例の懇親会です。大野理事の見事な司会のもと、今年も品川支部ならではの催しものが目白押しでした。昨年に続く日野会員による本格的なバイオリンは圧巻の演奏で、クラシックギター(磯野)が続きました。そして宴もたけなわのカラオケ大会、今年も喜多村副支部長の美声に酔い、ブラックヘッズのユニフォーム募集あり、新人紹介とともに恒例の楽しいメンバーの面々が懇親会を盛り上げました。



今回は総会で支部長改選があったので、新旧歴代4代の支部長が揃って壇上に上がりそれぞれの個性豊かなパフォーマンスを繰り広げ、最後に本日をもって退任される田村支部長と高橋浩三副支部長の退任ご挨拶があり、女性会員からの熱い花束贈呈で締めくくりました。

品川支部は新体制のもと、金子支部長の提唱するシナガワイズムをもって活動して参ります。

支部会員の皆様、品川支部を大いに盛り上げてゆこうではありませんか！



記事：磯野喜生 写真：神田敦子

金子新支部長に聞く 農耕型の支部活動とは

—金子支部長が良く言っておられる農耕型支部活動って、何でしょうか。

農耕型というのは、狩猟ではなく農業のやり方で支部活動を見ていこうということです。作物を採るにはまず種を蒔きますね。そのとき問題となるのは土壌の質です。良い土かどうか、水はけはどうか、陽当たりは。その土壌に当たるのが支部だと思います。支部がどうあれば作物の種が、つまり会員の皆さまですが、良い芽を出せるか。そして、収穫のときを迎えるまで支部という土壌が作物を育て、しっかりした実を結ばせる。そして、これはパッとやって終わるような短期的な活動ではなく、毎年毎年繰り返され、昨年よりは今年、そして来年と連綿と続き、受け継がれ、発展していく活動でありたいと思います。その継続的な支部活動のあり方を農耕型と言ったのです。

—具体的には、どんな支部でしょうか。

東京都行政書士会の常任会長の提案している「3つの共生」の中に、「地域との共生」というのがあることはご存知ですね。つまり支部が地域に密着して活動していくということです。品川支部は、他支部に比較しても地域にどかと根を張って活動していると感じています。より地域に密着した存在になり、頼れる相談役となることを目指すことで、田村前支部長がテーマとしていた「悩んだら、まずは行政書士に相談！という区風」を創ることができると考えています。

私が支部長に立候補しようと思った時に考えたことですが、行政書士は個人事業主ですから、本来は支部などに関わらなくても、自分だけで仕事はできるかも知れませんが。しかし、支部としてみんなで力を合わせて組織的に動くことで、より効果的に地域や行政に大きな影響をあたえることができ、結果として行政書士の職域の拡大や、地位の向上を実現することができると思ったのです。また、この支部には素晴らしいたくさんの先輩の先生方がいらっしゃいます。支部活動を通してこうした



方々と交流することで、素晴らしい経験と人脈を持つこともできます。

—支部長は「シナガワイズム」を基本方針であるとおっしゃっていますが。

「シナガワイズム」は、平松先生が支部長で、私が支部の総務を担当していた時に作った支部のキャッチフレーズです。その中身は、①支部会員の業務に貢献する支部活動②仲間を大切にす支部活動③我をすて、全員の融和を図る支部活動④若手会員の積極的な参加による支部活動⑤一致団結し行政書士の知名度向上をめざす支部活動⑥推進する職域拡大を目標とした支部活動⑦無理のない任務分担を考慮した支部活動の7つです。実は7つの文頭の読みを繋ぐと「シ、ナ、ガ、ワ、イ、ズ、ム」になります。言葉の遊びのようですが、まさに品川支部の諸先輩から引き継がれてきた価値観を明瞭に表していますので、これを基本方針にしようと思ったのです。

—他にも支部活動の指針として「人と地球にやさしい支部活動」を掲げていますね。

「人」とは支部の仲間や自分や家族のことです。支部活動は、自分は勿論のこと、仲間や家族にも過度な負担をかけてしまつては、継続できないと考えています。「地球にやさしい」とは、会議の回数や時間を効率的な運営を工夫することで減らし、支部から発行される紙での印刷物の量なども、極力減らしていきたいということです。そうすることにより、より効果的に支部の予算と人員を割けると考えています。

—行政書士は法律職ですが、その頭に「街の」とか「身近な」とかがつきますね。これをどうお考えですか。

法律職、つまり法律家ですから、高いレベルでの法律知識と職業倫理を要求されるのは当然です。しかし、法律家の頭に「街の」とか「身近な」とかがつくことに重大な意味合いがあると思います。私たち行政書士は、あくまで寄り添う、同じ目線で相談者と接することが必要です。更に私たちは、自分の仕事を「サービス業」であると自覚することが求められていると考えています。したがって、私たちは、お客様や地域、役所が満足していただけるサービスを提供できるクオリティを持たなければならないと考えています。

ですから、支部活動においても、支部役員と支部会員とのトラブルや、支部会員への横柄な対応、責任感のない行動はしてはならないことだと思います。つまり、品川支部の支部活動にかかわる以上は、全員が支部を代表する「支部長」のつもりで活動していただきたい、そう思っています。

—ありがとうございました。

聞き手・文：新居崎邦明 写真：小川雅之

ココが売りだよ！ 岡崎写真館

創業87年。「岡崎写真館」は、五反田で3代にわたって続いている写真館だ。

デジタルカメラやスマートフォンの普及により、誰でも簡単に写真が撮れる時代。街の写真館は減ってきている。

それでも岡崎写真館は続いてきている。城南地区では



一番古い写真館だという。それは、岡崎写真館が地域に密着し、地域のために、そこにいる人のために、写真を撮り続けたからだ。

岡崎写真館が所蔵している写真には、昔から現在までの五反田の風景が写っている。五反田で行われるお祭り等の写真撮影依頼もたくさんある。岡崎写真館の売りの一つは、地域になく

てはならない写真館であるということだ。

そんな岡崎写真館が6月から始めた新しいサービスがある。それが「ガラス乾板」で写真を撮るといったものだ。

写真撮影といえば、今ではフィルムどころか、デジタル形式なのがほとんど。写真の感光材としてガラス乾板が使われていたのは、フィルムよりも前のことである。

ガラス乾板が姿を消したのは、壊れやすく、持ち運びに不便だったから。そのため、今では日本でガラス乾板は生産されていない。だから、岡崎写真館ではドイツからガラス乾板を買って使っている。

それでも岡崎写真館がガラス乾板を使って写真を撮るサービスを始めたのはなぜか。3代目店主の伊與田彰さんに聞いてみた。



伊與田さんによると、ガラス乾板の魅力の一つは「味わい深さ」だという。例えば、幕末に撮られた志士たちの、今も残っている写真。あれはガラス乾板で撮られたものだという。歴史的な写真だからというのものもあるかもしれないが、確かに味わい深さがある。

また、解像度はデジタルよりもよく、割らなければ



保存もデジタル並みにいいという声もある。質の面でもガラス乾板は優れているというのだ。

ただ、それ以上に伊與田さんがガラス乾板を復刻させた理由がある。それは、日本で最初のガラス工場は、品川区にあったから。ガラスと品川区の「縁」に注目したのだ。

これも岡崎写真館が品川区のことをもっと知ってもらいたいという思いがあつてのことだ。

他にも岡崎写真館は、地域貢献活動として、五反田の施設で写真展を行っていたり、小中学生を対象とした写真館体験教室や、立正大学や清泉女子大学での就職活動用の写真セミナーなども行っていたりしている。これだけ品川区に密着している写真館もないであろう。

証明写真撮影も岡崎写真館では行っている。岡崎写真館では長年蓄積された写真撮影技術で素晴らしい証明写真を撮ってもらえる。マイナンバーの個人番号カードの顔写真や就職活動用の写真などはもちろん、行政書士との関係では在留資格・ビザの証明写真で信頼される「しっかりとした写真」を岡崎写真館で撮ってもらい、申請が認めてもらいやすくすることもできるのではないだろうか。

他にも、ブラジルパスポートの証明写真は、規格が変わっている。岡崎写真館はブラジル領事館から徒歩3分ほどの立地ということもあり、ブラジルパスポートの証明写真を撮るなら岡崎写真館しかないと言われている。

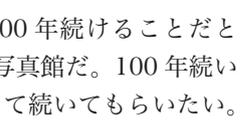
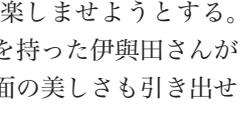
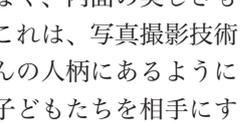
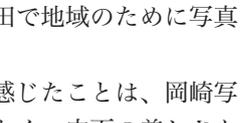
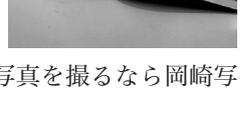
これも、岡崎写真館が長年五反田で地域のために写真館を続けてきた信頼の証であろう。

最後に、岡崎写真館への取材で感じたことは、岡崎写真館が外見を美しく撮るだけではなく、内面の美しさも見せる写真を撮るといったことだ。これは、写真撮影技術もあるが、それ以外にも伊與田さんの人柄にあるように思える。常に地域のことを思い、子どもたちを相手にするときにはおもちゃなどを使って楽しませようとする。

そんな地域と人を愛する気持ちを持った伊與田さんが撮るから、撮ってもらった人の内面の美しさも引き出せるのではないかと。

岡崎写真館の目標は、まずは100年続けることだという。五反田で長年愛されてきた写真館だ。100年続いた後も、街から愛される写真館として続けてもらいたい。

記事：野田洋平



町会長さん

平塚2丁目町会会長
志賀 勝さん

平塚2丁目町会は、有名な戸越銀座商店街の西側を内包し、明治11年開校の京陽小学校や、平塚シルバーセンターを持つ。商店街・子どもたち・高齢者と多彩な色を持つ町会だが、そのどれもが活気を持ち、明るい。この明るさは何から来ているのか、町会長の志賀 勝さんに伺ってみた。

みんなが楽しむ町会活動

町会の悩みと言えば高齢化。子どもが寄り付かない町会が多い中、平塚2丁目の活動はどうやら違う様だ。

毎年3月に行われるチャレンジパークでは、消防署の協力の下、公園で防災を学ぶ。スタンプラリー方式で地震や煙を体験し、スタンプが一杯になったら最後にはお餅が食べられる。なんとこのイベントは来場者が500名ほどになることもあるとか。また、夏休みには町会会館を使った子どもお泊まり会もある。ドジョウすくいにそうめん流し、どれも子どもが喜ぶものばかりで、子どもが喜ばば親も喜び、自然と地域のネットワークが創られている。

人にも優しく、環境にもやさしく

平塚2丁目町会の取り組みは、ただやみくもに人とのつながりを創ろうとしているのではない。「環境」というテーマを真剣に考え、その活動を通して人とのつながりを創り、さらにその人を豊かにする活動を行っている。

その代表例が「花いっぱい運動」。町会がプランターを無料貸与し、それを借主の庭先に置いてもらう。



町会会館の前も花でいっぱい

とのコミュニケーションも生まれている。

土づくりから自分たちで行い、年4回講師を呼んでの



町会長 志賀さん



廃土や野菜の残さで熟成土壌を作る

子どもたちにはそのメダカを譲っているという。

何かに行き詰った時、心がふさがった時には、平塚2丁目を歩いてみよう。

きっと子どもと花でいっぱいの町が、自分を明るくしてくれるはずだ。

取材：新居崎邦明 芹澤裕次郎 記事写真：芹澤裕次郎



品川区協働事業の助成を受けて取り組んだ「花いっぱい運動」の町会会館屋上緑化。常緑キンソウが育つ。



廃材を使ったメダカハウス。子どもたちが貰って育てる

支部にこんな人あり

河合元 先生

今回は、本年3月31日までの3年間の任期を終えて岩手県陸前高田市から帰って来られた元品川支部協力会員の河合元さんにお話を伺いました。

一東日本大震災後、陸前高田市に行こうと決めたまっかっけは何でしたか。

2012年9月に代々木公園で行われていたベトナムフェスティバルを見に行き、その本部テントで陸前高田の仮設住宅の居住者が制作した雑貨の販売をやっていたのを見たのが、きっかけといえまっかっけです。その後、前職の経験が生かせればと、岩手県任期付職員採用試験を受験。7倍前後の倍率を突破して3年間の任期で県職員として採用され、陸前高田市に赴任することになりました。現地に転居したのは平成25年3月下旬です。住まいは市役所まで徒歩約5分の場所にある災害派遣職員用宿舎でした。隣の部屋はなんと品川区の早期退職者でしたよ。

一あちらでは、どのような仕事をされていたのですか。

所属は市民環境課環境安全係でした。ゴミや騒音などの環境関係や、こちらで言う区民相談のようなことや、さらに消費者問題も扱っていました。要するに何でも屋です。部署にもよりますが、残業もかなりやりました。派遣職員の方で、あちらで亡くなった方もいたようです。

一メンタル的にも、かなりきつかったのでしょうか。ところで、普段の生活、買い物などはどうしていましたか。

近くにスーパーがあったので、車無しでも安心していたのですが、営業時間が問題で、仕事が終わってから行くと、閉まっていることが多かった。結局週末に買いだめすることになって苦労しました。生活環境は、平成25年当時は厳しかったです。赴任当初は、苦情関係の現場を土日に見に行ったこともありまっかっけ。土地勘も無かったですし、いろいろと見て廻ることも大切なので。

一自転車ですか。

はい。平日の工作中は公用車を運転していましたが、土日は自分の自転車でした。私は、休日には大船渡や住田町、宮城県気仙沼までも自転車で出かけていきました。地元の方には、それは自転車で行く距離ではないと止められまっかっけ。

一海で物を拾ったら、警察に… ではないのです。

普通、街中で物を拾ったら警察に届けますよね。ところが、海の中で物を拾うと、これは警察署の管轄ではないのです。実は市町村長なのです。水難救護法に定められています。私は、水難救護法をもとにその手続きを定める仕事を、赴任当初に言い渡されました。ここでは誰もやったことのない仕事なので、結構大変でしたよ。

一こちらでは経験できない仕事ですね。

あちらに行かなかったら、絶対しなかつた仕事でしょ

うね。この他にも、災害廃棄物に関する契約書のチェックをしたりまっかっけ。災害廃棄物は産業廃棄物ではないので、つまり一般廃棄物なので市町村が扱うのです。ただ、瓦礫などは、通常のゴミとは違いまっかっけ。産業廃棄物の処理契約書に似せて作っていました。

一陸前高田市に住んでどんな印象を持ちまっかっけ。

とても素朴な人々が多いという印象です。例えば、家にお邪魔する用があつて行くと、ドアは開いているけれど誰もいない、ということもしばしばでした。ある意味おおらかな土地柄なのでしょう。子供たちも出勤時にすれ違つると、「おはようございまっかっけ」と挨拶してくれるし、車を運転中に横断歩道の手前で一時停止すると横断者(子供)から「ありがとうございます」と声をかけてくれます。

一住むとしたら、どうですか。

私は、全く抵抗ないです。雪も陸前高田はそんなに降らないし、市長は「岩手の湘南」と言っています。内陸の一関とかに比べれば、冬でも住みやすいと思いまっかっけ。

一私も陸前高田には昨年、何度か行きましたが、あの盛り土の凄さには圧倒されまっかっけ。盛り土も真っ平らなのは驚きまっかっけ。

そうですね。盛り土などのために削られた山がありますので、それによって風の影響とかはどうなのでしょう。

一ところで、河合さんと言えば、チェスですよね。あちらではチェスはされていたのですか？

東北には仙台チェスクラブというのがありまして、3年のうちに2回ほど大会に出場しました。1回目は平成26年1月の仙台新春チェス大会で、そこでは準優勝しました。2回目は、全日本選手権の予選に東北選手権というのがある、そこに途中出場して1勝1敗でした。そのとき、歌人の俵万智さんのお父様と対戦しましたよ。

一準優勝ですか、流石ですね。ところで、奥様はベトナムの方ですか？

はい、昨年の11月に籍は入れましたが、同居し始めたのは、今年の4月からです。

一馴れ初めは？ どこで知り合われたのですか。

私は日本語教育に興味がありまして、行政書士になる少し前に、ロンドンにある英国国際教育研究所(IIEL)というところに約1か月勉強に行きました。その後、Facebookで知り合い、私は日本語会話の練習相手でした。

一そうでしたか。お忙しいところ、ありがとうございます。どうぞお幸せに。



記事：日野義博)

「リベンジの準備はできたのか？」

監督 小川雅之



八潮サンライズ戦

いよいよ28年度となり、我がブラックヘッズも頂点を取り返すべく始動した。近年のブラックヘッズの選手層の充実ぶりは素晴らしく、その実力は年々増えています。しかしながら、一昨年は上位決定戦が雨で中止、昨年は初戦に敗れるというまさかの結果となりました。これにより他支部からは、品川支部はもう終わった、常勝軍団ではないのだ、とも言われかねない状態に甘んじています。

しかし、我々は勝たなければいけません。品川支部は懇親の場でも、勝ってきた歴史があります。今年度の総会ではブラックヘッズの活動にご理解をいただき、品川区リーグ戦への出場機会を与えていただきました。4月に開幕した品川区リーグ戦では、初戦こそ落としたものの、2戦3戦と実戦の感覚を取り戻し、3戦目では今まで毎試合大差で負けてきた品川区でも屈指の常勝チーム、「八潮サンライズ」を破るという快挙を達成いたしました。

また、今年の猛暑の中で開催された品川区

民スポーツ大会では、多数の選手が参加され、まさに暑い熱戦を繰り広げました。こちらの大会では残念ながら初戦敗退という結果となりましたが、強豪相手にとても得ることの多い大会となりましたことをご報告致します。

我がブラックヘッズは、大会前に品川区リーグ戦にて最終調整をして本大会に臨みます。もう負けられない試合は目の前に来ています！

いよいよ9月19日（敬老の日）は東京会のソフトボール大会です。会場は明治神宮軟式球場。運命の初戦は、日の丸球場にて9時35分より大田支部との対戦となります。前評判では、

大田支部に野球経験者が数人入団し、侮れない相手との情報もありますので、油断することなく、力を出し切る試合をして参ります。

ブラックヘッズは若手、ベテランが共に活躍するチームです。今後も多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



品川区民スポーツ大会

チェス同好会

世界150カ国以上でゲームがされているチェスを楽しもうと支部有志が集まり、原則として毎月第3月曜日に例会を開催しています。午後6時から午後8時頃まで、定跡の勉強やゲームを中心に活動をしています。初心者の方には駒の動かし方からお教えしますので誰でも2、3回の参加でゲームが楽しめるようになります。例会の後は、近くの居酒屋でのどを潤しながら、ゲームをレビューしつつワイワイと騒いでいます。

参加されたいという方、ちょっとだけ興味があるという方も、一度のぞいてみませんか。大歓迎です。



連絡先: shoichi@srg-tsuda.biz または、kawaigyosei@yahoo.co.jp

みんなの暮らしの講座開催

みんなの暮らし講座「自分でできる遺言書作成」を、6月11日（土）午後2時より4時まで五反田文化センター3階において開催いたしました。

講師として品川支部より神田敦子先生、野田洋平先生、磯野喜生先生及び私の計4名が参加、全く経験のない方が自宅に帰った後に、ご自身で自筆証書遺言を作成できるところまで持っていくことを目標に、講座内容を検討いたしました。

工夫した点としては、2時間もの長丁場でも参加者を飽きさせないために、以下4種類のレジュメを全員に配布し各講師が担当パートを講義する形式を採用いたしました。

レジュメ①遺言相続〇×問題

レジュメ②遺言書記載例

レジュメ③失敗しないための遺言書チェックリスト

レジュメ④遺言書作成の補助用紙

参加者の募集は、広報しながわへの掲載と区内10図書館でのポスター掲示（費用は全て図書館の負担）

により行い、42名定員を超える応募があり当日は満員となりました（写真は講座開始前のものです）。

講座の最後に行った質疑応答では個別案件に関するものが多数あり、時間をオーバーするほどで、参加者の関心の高さを感じました。

講座終了後、五反田図書館館長や担当者からは高い評価をいただき、来年度の開催にも期待を持ちながら、館長のポケットマネーで全員にいただいた菓子折りを手に、帰宅の途につきました。

（企画G 大野容充）



集まれ、音楽大好き人間

音楽大好きな皆さん、こんにちは。これまで、品川支部には音楽を中心としたグループがありませんでした。そこで、私こと日野が、音楽を真ん中に据えた緩～いグループを立ち上げたいと思います。クラシック・ポップス・ジャズなどのジャンルには拘りません。楽器が出来る方を中心に考えていますが、たんにコンサートを聴きに行くといった楽器とは無関係の集いも企画したいと思っています。ご連絡は、hino-houmu@law.email.ne.jp（日野）まで。支部内でユニットが組めれば楽しいですね。



フットサル同好会立ち上げ

この度、行政書士会品川支部にてフットサル同好会を立ち上げました。ルールは、簡単に言えば5人制ミニサッカー。試合時間は1試合6分程度！試合中いつでも何度でも交代できるのが魅力的！運動着と運動靴、これさえあればOK！経験・未経験、男女問わず一緒に汗をかきませんか？



応援・見学也大募集です。川部・野田・芹澤で盛り上げていきますので、ぜひご参加ください。詳細は品川支部MLにてお知らせします。

一空き家は資源だ一空き家巡りツアー開催 街活プランナーズ

①空き家問題研究会（仮称）活動開始

第1回は、CODE for 大江戸と共催で空き家ツアーを6月25日（土）午後に行いました。参加者は街活プランナーズ6人、CODE for 大江戸2人、他1人、佐山先生で10人。佐山先生をコーディネーターに品川宿のカフェ、ゲストハウス、イベントルームなどを回り、西中延3丁目の管理不全空き家、活用提案中の空き家、旗の台の代執行ゴミ屋敷



等を取りました。最後に街活プランナーズ事務所で空き家問題ディスカッション。活用のためのリフォームなどの資金としてクラウドファンディングをやってみたらなど、積極的な意見が出ました。

②空き家物件の活用に向けた活動

活用提案中のSさん空き家のあるグループが「造形教室」として賃貸契約することになり、街活プランナーズとして最初のマッチング事例となります。他にも戸越公園、旗の台の空き家からも相談が来ています。

③区に助成金を申請

昨年に続き、空き家ネットワークづくりに向けて区に助成金の申請を行いました。



支部 information



平成 28 年 1 月 1 日～9 月 6 日
 新入支部会員（平成 28 年 1 月 15 日～8 月 30 日）

氏名（敬称略）	事務所所在地
高橋 誠二郎	品川区中延 3-7-5
尾作 宣成	品川区大崎 4-6-8 ファミネスハイツ海老澤 1F
三上 晋史	品川区荏原 1-6-7-101
前島 実	品川区南大井 1-11-9
後藤 則行	品川区西品川 1-22-14
安齋 美子	品川区二葉 3-15-5 グロワール西大井 201
小池 由樹	品川区東五反田 1-9-7-305
河合 元	品川区大井 4-26-9
沢頭 和弘	品川区上大崎 2-15-19-1304
椎木 宏	品川区北品川 5-9-42 クレール御殿山 117 号
壽村 智之	品川区西五反田 3-8-3 町原 Building3F
難波 勝己	品川区南品川 3-7-1 小松崎ビル 2 階
小幡 利春	品川区西大井 5-6-5-202 号 品川富士見台グリーンハイツ
矢部 香織	品川区南品川 5-1-11-1202
與那覇 満	品川区西五反田 1-4-8 秀和五反田駅前レジデンス 508 号室
許 海濱	品川区東五反田 5-22-37 オフィスサークル N 五反田 1005 号

主な支部活動

開催日	活動内容
1 月 6 日	武道始式（大井署）
1 月 7 日	武道始式（荏原署）
1 月 8 日	支部通信 14 号発行
1 月 12 日	武道始式（品川署）
1 月 12 日	武道始式（大崎署）
1 月 18 日	新年賀詞交歓会
2 月 12 日	支部暴排研修会
2 月 24 日	支部理事会
3 月 18 日	支部理事会
3 月 23 日	支部顧問相談役会
4 月 1 日	支部理事会
4 月 19 日	支部総会
5 月 27 日	支部理事会（全体会）
6 月 11 日	みんなの暮らし講座
8 月 5 日	四支部合同研修会
8 月 26 日	支部理事会・暑気払い
9 月 6 日（火）	新人交流研修会

主な支部政治連盟の動き

開催日	内容
4 月 7 日	中川まさはる先生後援会発足式
4 月 7 日	江戸川支部 65 周年記念式典
4 月 14 日	山内あきら先生都政報告会
5 月 3 日	区議会公明党訪問
5 月 10 日	濱野区長後援会発足式
5 月 16 日	田中たけし先生都政報告会
5 月 17 日	公明党時局講演会
5 月 31 日	品川区議会報告会
6 月 11 日	松原仁先生国政報告会

6 月 18 日	石原ひろたか先生国政報告会
6 月 27 日	中川まさはる先生決起大会
7 月 4 日	中川まさはる先生個人演説会
7 月 21 日	各党要望ヒアリング出席（自・公・民）
7 月 26 日	都知事選増田候補総決起大会
7 月 28 日	都知事選増田候補演説会
8 月 24 日	松澤としゆき先生区政報告会

これからの主な予定

- 法教育模擬授業 9 月 29 日（木）
- 支部理事会 10 月 6 日（水）
- 夢さん橋相談会 10 月 8 日（土）、9 日（日）
- 区民相談研修会 10 月 18 日（火）
- 法教育授業（品川学園）10 月 18 日（火）
- 支部理事会 12 月 15 日（木）

寄稿 高橋浩三先生に捧ぐ言葉

「しゃあねえなあ〜、やるか！」この言葉で、支部のあれこれが動き出しました。

先生の右側の口端が、ちょっとだけ上に上がって笑顔が見えると、みんなが安心しました。もう、この一言が聞けなくて、笑顔が見られなくなって、どれだけの人達が不安定な気持ちになっているのでしょうか。残った支部会員が、浩三先生の、いつも安定した目配り、心配りを鑑みながら今後は動いていくんだろうなと思うと、つくづく、どれだけ大事な方を失ったかと、今更ながらに寂しさを感じています。浩三先生のこれまでの全てに感謝申し上げると共に、心からご冥福をお祈りいたします。本当にありがとうございました。



合掌

喜多村 郁子

平成 28 年 9 月 10 日発行

発行人 金子 琢哉

発行所 東京都行政書士会品川支部

〒141-0032

東京都品川区大崎 1 丁目 20 番 8 号

INOビル大崎 503 号

TEL 03-3490-1650

FAX 03-6807-2580

URL <http://shinagawa-tokyo-gyosei.org/>

編集人 磯野喜生 小川雅之 神田敦子 芹澤裕次郎

新居崎邦明 野田洋平 日野義博